ま え が き

「平成24年度学生生活実態調査報告書」を刊行いたしました。

この報告書は、平成24年９月24日から10月31日にかけて実施した調査を統計的に処理・分析し、その結果を概要やグラフ及び基礎集計表にまとめたものであります。

この調査の目的は、本学学生の生活実態を的確に把握することであり、正課教育や正課外教育の状況、課外活動やボランティア活動の実態、学生の福利厚生に関する基礎データを収集し、経年的に比較しつつ、教学上の施策や大学運営の参考資料として作成するものであります。また、これらの資料は、学生生活や教学面をサポートするための施策を迅速に立案し、実施するためには欠かせないものと考えております。

今年度は「特別テーマ」の年にあたり、基本的な調査項目は残しつつ、「アルコール」「薬物」「喫煙」「学内駐輪」等、学生生活における学内外のタイムリーな問題に焦点を当てた調査項目を多く盛り込みました。この結果、より正確に本学学生の学生像を把握できるものになったと考えております。

社会のグローバル化や情報技術の急速な進歩によって、学生のニーズが変化するスピードは非常に速くなってきているように思われます。しかし別の面では学生の生活実態は旧態依然としているところもあり、学生の生活実態の多様化を感じざるを得ません。そのような状況では、本調査のみでは学生の意識を判断できかねる面もあり、今後さらなる調査内容・方法を検討する必要性を痛感しております。

最後になりますが、本調査に誠実に回答していただいた学生諸君のご協力に厚く感謝申し上げます。また報告書を作成するにあたり、ご協力いただいた関係者各位に心より御礼申し上げます。

平成25年３月31日

関西大学　学生センター所長
黒　田　　勇